

審判巡回報告

大会名 第2回 全県南中学1・2年生ソフトテニス研修大会

期 日 平成28年8月11・12日 (木・金)

会 場 しらさかの森スポーツ公園内テニスコート

参加団体数 (団体戦の場合) — 団体

参加ペア数 (選手権ダブルスの場合) 340ペア

参加人数 (シングルの場合) 680人

報告者 仁平義孝

ワッペン着用状況



巡回状況



●審判技術

- ・正審のコールが小さく、アウトでプレーが止まらないケースが見られた。
- ・副審が判定区分外の区画線、特にベースラインを判定するケースが多く見られた。
- ・副審がインのサインをするケースが多く見られた。
- ・副審のサーブを判定する際の構えの姿勢ができていないケースが多く見られた。

●監督・ベンチコーチのマナー

- ・アドバイスの時間が長いケースが見られた。
- ・決められた時間外にアドバイスをすることが見られた。

●観客のマナー

- ・観客席からアドバイスする事があり、それに反応するケースも見られた。
- ・全体的には応援の仕方に問題はなかった。

●その他

- ・ワッペンを付ける位置が違う審判員がいた。特に腰の位置に付けるケースが多い。
- ・挨拶の時、正審と副審が向かい合って立つケースが多かった。特にマッチ終了時。
- ・試合終了後、サービスラインに整列するケースが見られた。
- ・際どい判定に対して、判定前に「ラッキー」等の発声をするケースは見られた。

本大会は研修大会のため1年生の参加も多く。また先生も新しく顧問になり間もない大会の為、ルールを充分理解していない人が多い。そのため警告の対象となる内容でも指導とし、繰返される場合警告とした。今後も本大会での審判指導を強化・実施する。